

令和5年(2023)6月 入域観光客数概況(確定版)

66万3,400人
対前年(R4)同月比 +21万4,900人、+47.9%
～6月としては復帰後5番目、対前年同月比で19ヶ月連続の増加～
※(R元年度)同月比 ▲20万4,800人、▲23.6%

【更新履歴】①令和5年7月25日速報版公表

②令和5年9月25日確定版公表

※外国人観光客数の国別の内訳及び確定値については、出入国在留管理庁公表資料を参照しており、同庁公表後に県の公表となります。そのため、9月公表の本確定版において、外国人観光客に係る「入域状況」、「国籍別入域状況」及び「空路・海路の国籍別入域状況」を3枚目に追加しています。

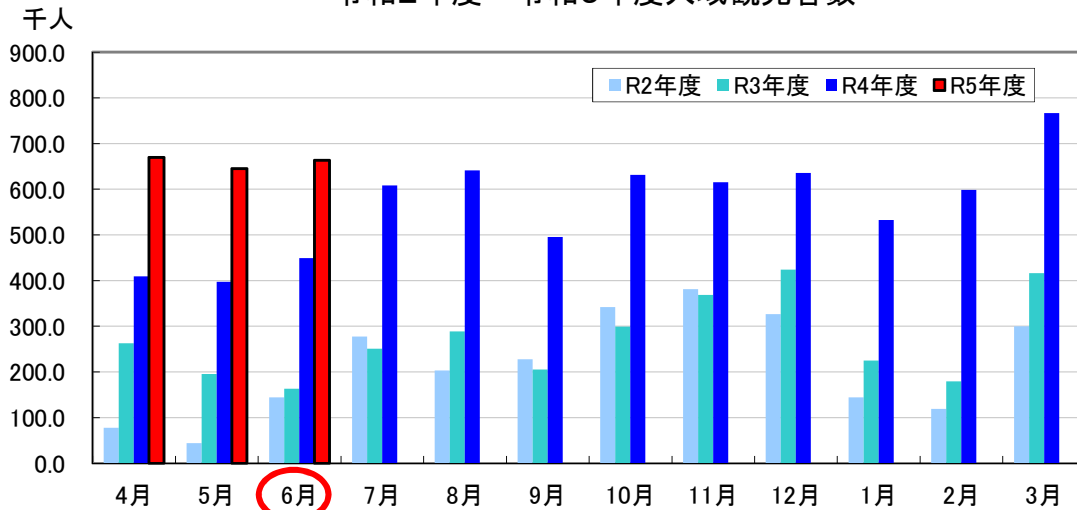
入域状況

入域観光客数(令和4年度との比較)

区分	R5年度	R4年度	増減数	増減率	構成比
国内客	585,700人	448,500人	+137,200人	+30.6%	88.3%
外国客	77,700人	0人	+77,700人	皆増	11.7%
合計	663,400人	448,500人	+214,900人	+47.9%	100.0%

※外国客には、海路における乗務員等5,700人を含む。

令和2年度～令和5年度入域観光客数



国内客 入域状況

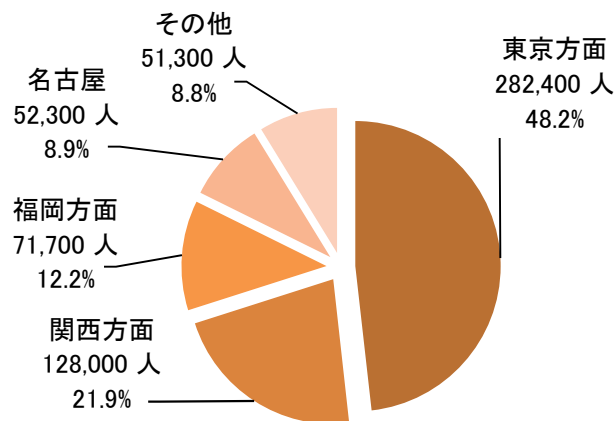
6月は、全国旅行支援等による需要喚起があったほか、県内各地のハーリー大会等のイベント、6月中に計4回実施された日本船による那覇港発着クルーズ(フライ&クルーズ)等により、前年同月及びコロナ禍前の令和元年度同月を上回った。

国内客 地域別入域状況

区分	R5年度	R4年度	増減数	増減率	構成比
東京方面	282,400 人	222,500 人	+ 59,900 人	+ 26.9%	48.2%
関西方面	128,000 人	98,600 人	+ 29,400 人	+ 29.8%	21.9%
福岡方面	71,700 人	55,800 人	+ 15,900 人	+ 28.5%	12.2%
名古屋	52,300 人	41,600 人	+ 10,700 人	+ 25.7%	8.9%
その他	51,300 人	30,000 人	+ 21,300 人	+ 71.0%	8.8%
合計	585,700 人	448,500 人	+ 137,200 人	+ 30.6%	100.0%

※国内海路客8,400人含む。

国内客の地域構成比



各方面ごとの概況と見通し

東京

6月は、全国旅行支援等による需要喚起や梅雨明け時期の週末需要を見込んだ航空会社による臨時便等があり、前年同月及びコロナ禍前の令和元年度同月を上回った。

関西

6月は、全国旅行支援等による需要喚起により、前年同月及びコロナ禍前の令和元年度同月を上回った。

福岡

6月は、全国旅行支援等による需要喚起により、前年同月及びコロナ禍前の令和元年度同月を上回った。

名古屋

6月は、全国旅行支援等による需要喚起により、前年同月及びコロナ禍前の令和元年度同月を上回った。

外国客 入域状況

6月は一部航空路線の運休が継続しているものの、那覇－香港便増便(6/6～、週5便→7便)や那覇－台北チャーター便(6/22、25)、端午節連休(6/22～24)等により、外国客数は堅調に推移した。

7月以降も、那覇－上海便、那覇－クアラルンプール便(台北経由)等航空路線の回復が続くなか、8月10日に中国政府による中国人の日本への団体旅行が解禁され、9月には中国本土路線の再開が続いており、台風の影響が懸念されるものの、総じて段階的な回復が期待できる状況にある。

- トピック**
- ▶【台湾】沖縄向け旅行需要が人気で、那覇大綱曳きやNAHAマラソンのツアー商品が販売された。
 - ▶【韓国】6月に韓国発着クルーズ船が寄港し、多くの韓国人観光客が来訪。韓国人歌手によるクルーズコンサートや那覇、宮古島等の寄港地での旅行がテレビで放映された。
 - ▶【マレーシア】8月16日に就航した那覇－クアラルンプール便(台北経由)に併せて、5泊6日沖縄ツアー商品が販売された。
 - ▶【中国本土】中国本土路線は運休が続いていたが、7月1日及び9月8日に那覇－上海便が再開し、9月28日に那覇－北京便の再開が予定されている。

外国客 国籍別入域状況

区分	R5年度	R4年度	増減数	増減率	構成比
台湾	30,300人	0人	+ 30,300人	皆増	39.0%
韓国	22,600人	0人	+ 22,600人	皆増	29.1%
中国本土	900人	0人	+ 900人	皆増	1.2%
香港	13,400人	0人	+ 13,400人	皆増	17.2%
アメリカ	2,000人	0人	+ 2,000人	皆増	2.6%
タイ	400人	0人	+ 400人	皆増	0.5%
シンガポール	400人	0人	+ 400人	皆増	0.5%
その他	7,700人	0人	+ 7,700人	皆増	9.9%
合計	77,700人	0人	+ 77,700人	皆増	100.0%

※「その他」には、海路における乗務員等5,700人を含む。

外国客 空路・海路の国籍別入域状況

区分	空路				海路			
	R5年度	R4年度	増減率	構成比	R5年度	R4年度	増減率	構成比
台湾	30,300人	0人	皆増	44.5%	0人	0人	—	0.0%
韓国	19,800人	0人	皆増	29.1%	2,800人	0人	皆増	29.2%
中国本土	900人	0人	皆増	1.3%	0人	0人	—	0.0%
香港	13,400人	0人	皆増	19.7%	0人	0人	—	0.0%
アメリカ	1,300人	0人	皆増	1.9%	700人	0人	皆増	7.3%
タイ	400人	0人	皆増	0.6%	0人	0人	—	0.0%
シンガポール	400人	0人	皆増	0.6%	0人	0人	—	0.0%
その他	1,600人	0人	皆増	2.3%	6,100人	0人	皆増	63.5%
合計	68,100人	0人	皆増	100.0%	9,600人	0人	皆増	100.0%

※海路の「その他」には、乗務員等5,700人を含む。

外国客の地域構成比

